

JENESYS2019ASEAN 招へいプログラム第 6 陣の記録

テーマ：持続的な日本語学習の動機づけ、防災・減災を見据えた街づくり

対象国：フィリピン

1. プログラム概要

JENESYS2019 の一環として、フィリピンより日本語・日本文化に関心を有す高校生・引率者 21 名が、2019 年 10 月 23 日～10 月 31 日の 8 泊 9 日の日程で来日し、「持続的な日本語学習の動機づけ、防災・減災を見据えた街づくり」をテーマとしたプログラムに参加しました。本訪日団は、都内で新聞社や印刷会社等を視察して、活字印刷や映像産業について学び、日本の表現文化についての見識を深めました。その後、岩手県を訪問し、東日本大震災からの復興経験に触れ、ゼロからのまちづくりについて学んだほか、大学生との交流や宮城県でのホームステイで日本人と直接関わり、日本語への習熟を図るとともに、日本とフィリピンの友好関係がより一層強まりました。一行はプログラム中、日本の活字・映像産業や伝統文化に高い興味を示し、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】フィリピン 21 名

【訪問地】東京都、岩手県、宮城県

2. 日程

10月23日（水） 来日【オリエンテーション】

10月24日（木） 【街づくり/テーマ関連視察】江戸東京博物館

※日本建築文化の歴史について学習

【学生交流】明治大学 国際日本学部

10月25日（金） 【日本語・日本文化/テーマ関連視察】株式会社 朝日新聞 東京本社

※日本の活字文化や表現の自由について学習

【最先端科学技術/テーマ関連視察】

一般財団法人 高度技術社会推進協会（TEPIA）

※日本の先端技術（コミュニケーションロボット）を視察

【日本語・日本文化/テーマ関連視察】凸版印刷 株式会社

※日本の活字文化について学習

- 10月26日(土) 東京都から岩手県へ移動
 【日本語・日本文化/テーマ関連視察】 関山 中尊寺 金色堂
 【街づくり/テーマ関連視察】 復興最前線ツアー
 (一般社団法人 マルゴト陸前高田)
 ※防災・減災を見据えた街づくりを視察
 岩手県から宮城県へ移動
 【街づくり・日本語・日本文化/ホームステイ】 気仙沼にて民泊
- 10月27日(日) 【日本語・日本文化/ホームステイ】 体験：そば脱穀、そば打ち
- 10月28日(月) 宮城県から東京都へ移動
 【日本語・日本文化/テーマ関連視察】
 特定非営利活動法人 映像産業振興機構
 ※日本語学習の情意要因について学習
- 10月29日(火) 【表敬】 在京フィリピン共和国大使館
 【日本語・日本文化/テーマ関連視察】 国会議事堂
 【日本語・日本文化/テーマ関連視察】 皇居 二重橋
- 10月30日(水) 【ワークショップ】
 【日本語・日本文化/テーマ関連視察】
 国際交流基金日本語国際センター
 ※外国人日本語教師の研修現場視察
- 10月31日(木) 【報告会】 帰国

3. プログラム記録写真

	
<p>10月24日【街づくり/テーマ関連視察】 江戸東京博物館</p>	<p>10月24日【学生交流】 明治大学 国際日本学部</p>



10月25日【日本語・日本文化/テーマ
関連視察】株式会社 朝日新聞 東京本社



10月25日【日本語・日本文化/テーマ
関連視察】凸版印刷 株式会社



10月26日【日本語・日本文化/テーマ
関連視察】関山 中尊寺 金色堂



10月26日【街づくり/テーマ関連視察】
復興最前線ツアー



10月26日【街づくり・日本語・日本文化
/ホームステイ】気仙沼にて民泊



10月27日【日本語・日本文化/ホーム
ステイ】体験：そば脱穀・そば打ち



10月28日【日本語・日本文化/テーマ
関連視察】映像産業振興機構



10月29日【表敬】
在京フィリピン共和国大使館



10月26日【日本語・日本文化/テーマ
関連視察】国会議事堂



10月30日【ワークショップ】



10月30日【日本語・日本文化/テーマ関連
視察】国際交流基金日本語国際センター



10月31日【報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

- ◆ 今回の訪問で、将来について沢山の可能性が見えました。私は芸術に興味があり、今回行った場所は、目指すべき目標達成のために役立ちます。日本の文化や空気を実際に肌で感じたことで、近い将来ここで勉強するんだ、という私の決意が固まりました。日本の文化はフィリピンと大きな違いがあります。階層と性別の捉え方の違いは明らかです。食事の方法は本当に違います。帰国後、家族や友人、クラスメートと感じた事や経験を共有できると思います。
- ◆ 日本での滞在は間違いなく忘れられない経験となりました。終始、興味深い物事であふれていました。新しいことを発見し、想像を絶する体験をし、人と出会って、新しい友達をつくることができました。知識によって賢くなるだけでなく、実際に経験することで初めて体得することができます。「経験は最高の教師」と言われています。私が再び来日するまで、今日この時を学生として経験したことを忘れません。
- ◆ 今回の日本滞在中に、日本がどのように文化と伝統を大切にしているのか、そして彼らが被災の経験から希望と復興する力をどのように生み出しているかについて学ぶことができました。類似点と相違点については、滞在中に日本文化と日本の文化との多くの違いに遭遇することができました。しかし、それに関して私が全滞在から学んだことは、それらの違いにもかかわらず、長年揺らぐことのない二国間の良好なつながりがあることです。私は代表団として私たちが準備した行動計画を通して、私たちのすべての経験から学んだことを伝えることができます。

5. 受け入れ側の感想（抜粋）

- ◆ 今回の訪問で、日本の大学生活や日本語学習に少しでも興味を持ってもらえれば、こちらも幸いです。交流会に参加した本学の学生からも、とても楽しかったという声を聞いており、学生にとっても有意義な経験となりました。（明治大学 国際日本学部）
- ◆ 東日本大震災の復興最前線の地へ、実際に足を運び、各現場を視察頂いたことで、参加した学生たちは、津波被害の甚大さ、その教訓を風化させないことの大切さ、復興に向かう人々の力強さなどを、肌で感じ、考え、より深い理解につなげることができたようでした。少しでも子供たちにとって、いい機会になればとても嬉しいです。（復興最前線ツアー）
- ◆ 先般は、標記のプログラムにつきましてフィリピンの高校生とコンテンツのお話もさせて頂くことが出来ました。ありがとうございました。日本のコンテンツをどのようにして知ったのか、他国のコンテンツにも興味はあるか、などのテーマに関し、意見交換ができ、普段聴くことができない生の学生の声を聴く貴重な機会となりました。日本のアニメ・映画・映画が好きだ、ストーリーやキャラクター設定が面白いとの意見が多くの団員から出ていました。（映像産業振興機構）

6. 参加者の対外発信

<p>2019年10月31日 https://m.facebook.com/story.php?story_fbid=996411890716179&id=100010421312964</p>  <p>Jappet DatoyさんはJennette Julian Lozanoさん、他12人と一緒に、 2019年10月31日</p> <p>"Family isn't always by blood. It's the people who want you in their lives, who would do anything to make you happy, and who will fully accept and love you for who you are."</p> <p>October 27-28, 2019</p> <p>To have a firm and proper product, each of us must undergo in such steps in order to have a good product. Like the soba that we had as our first activity during that day. For me it is not that hard to produce soba because when we know the basic steps and we do it whole-heartedly, soba will be produced deliciously.</p> <p>The next activity is the backwheat where we are able to know the process of how the soba flour was made. Japanese workers are hitting the backwheats to separate the nuts of it and then underground with the grinding machine and it will produce a soba flour.</p> <p>The next day is farewell ceremony, sad to say but we have no choice. Though we have great things in our homestay and to our host family, I also have lots of <i>tsamirre</i> in <i>this kinemastar</i>.</p>	<p>2019年10月31日 https://m.facebook.com/story.php?story_fbid=2665406203515396&id=100001381274316</p>  <p>Ike Raiton Colipano Heraさんは埼玉県にいます。 2019年10月31日</p> <p>The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa, is an auxiliary organization of the Japan Foundation (JF), which has designated support for Japanese language education overseas as one of its key sectors.</p> <p>The Institute was established on July 1, 1989 in Saitama City (then Urawa City) in Saitama Prefecture to respond to the diversifying needs of students learning Japanese overseas and the calls for more assistance from overseas countries.</p> <p>#JENESYS2019ASEAN</p> <p>48人が既読</p>
<p>良質な製品を手に入れるためには、私たち一人一人がしっかりとしたステップを踏まなくてはなりません。その日の私たちが食べた日本そばのように。そばを作るのはそれほど難しいことではありません。なぜなら、基本的な手順を知り、心を込めてそれを行うと、そばが自然と美味しく出来上がるからです。午後の活動では、そば粉がどのように作られたのかを知ることができました。日本人労働者は、そばを叩いて実を分離し、その後粉砕機で地下に入れて、そば粉を生産します。</p> <p>翌日はホームステイのお別れ会で、本当に悲しいですが、選択の余地はありませんでした。私はこのホームステイで多くのことを学びました。</p>	<p>国際交流基金浦和国際交流協会は、国際交流基金（JF）の補助機関であり、海外の日本語教育への支援を主要部門の一つとして指定しています。</p> <p>1989年7月1日に埼玉県さいたま市（当時浦和市）に設立されたのは、海外で日本語を学ぶ学生の多様化するニーズと、海外からのさらなる支援の要請に応えるためです。</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

- 1、日本で学んだ事や日本での経験を SNS や校内出版物で共有します。校内にあるジャーナリズムチームの協力を得て、校内出版物に記事を寄せ、一般の人に JENESYS プログラムを紹介します。
- 2、校内でフォーラムやシンポジウムを開催します。日本語教師の協力を得てプレゼンテーションの形で日本での経験や JENESYS プログラムを全校生徒に紹介します。
- 3、日本での経験についてプロモーションビデオをつくります。FB や You Tube その他の SNS ツールでも共有し、広く一般の人が見られるようにします。
- 4、日本文化、歴史、科学技術を集めた展示会を開催します。校内の会議室や校庭、体育館を使用して写真や日本の工芸品を紹介します。
- 5、日本語キャラバンや日本語フェアを行います。校内の日本語学習者を対象に AV 室や会議室、教室にて日本のカルタ、俳句、習字などの文化を紹介します。

事業実施団体:株式会社JTB